



414
A1363



養小 金佐倉而牧野聖地ノ義ハ曰野聖
 馬ノ規則并示庄沼華之来ル子續等
 由リ其祥如え會社各員 所有此丸事
 顯然タリ然ル去ル明治十年十餘ニ村推谷
 不身全介るる者其許ヲ相手取
 リ細弘ヲ起セシ之亦本る端ノ苦情ヲ淋
 瀝ニ薫興致派之分レテ衆口一談曰會社
 二向七乃為触ノ如言罵四言極ムルニ遂ニ
 首の第一ノ難事トナリ地乃如富及

東京第一米商會所

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



東京第一米商會所
東京上等裁判所ノ判決ヲ經テ尚且服
ヲ唱、彼故テ大審院ニ上告スル、未令ノ
般終ニ裁判力及ケル果シテ四會社ハ
段有権ヲ堅フスルコト、理、宜ク然ルヘクニテ
怪、之ムニ置ラス、雖、此、六年、以、本、全國、無比、ノ
之、新、氏、全國、無比、ノ、爲、五、家、タル、三、井、家、ト、地、所
ノ、権、利、ヲ、争、訟、スル、殊、奇、異、事、一、コト、ト、シ、テ、
各、社、ノ、此、事、紙、ニ、掲、載、シ、テ、普、ク、傳、布、シ、テ、傳
播、セリ、而、テ、景、況、タ、ヤ、或、ハ、百、倍、禮、禮、ノ、多、重、
者、老、チ、幸、チ、切、チ、負、セ、由、務、省、ノ、衙、門、ニ

哀求ニ或ハ各所ニ聯合シテ子孫ノ企ナシ
知官四方ニ奔走シテ説諭勸告備ノ多費
亦サナシトセス且又之ヲ要國ノニテ有る理
ヲ存サシル者幾ハ知友ノ所分ニ疑ヲ容レ或
ハ五家ノ權ヲ使ニテ市民ヲ凌擽スルノ想
儻々起シ其徒爲目スルモノ強ト全國
ニ遍キニ至レリ則此一件ノ利ニ利ニ於テ亦
ノ三井家資産輕重ヲナスニ置ラスト雖、
旭日沖天ノ勢アル業興衰ノ禍害ニ莫スルモ
ノサハナラス然ルニ後産會社口規則ノ本

立ト往時形勢沿革トテ照顧ニテ之ヲ反
西復推究スルノ後ニ非ラザレハ頑民等申立
到底謂レナキノ請求タルノ理由ヲ見出シ
難ク作案ヲ開ラ方カヲ續ク以テ今日縁
麦彌望、此由トシタル現状ノ目前ニ類
出シ又窮蹙ニ至ルノ虞止リ節制ノ良方
勿ニ於テ十分ノ理解ヲ得ルニトテサレハ
或ハ破毀ニ至ルヘキ急急ヲ生スルモノナレトセ
ス然レニ今も裁決ニシテ諸君ニ三井家業
基ヲ完全スルニ至ルハ實以テ危年ニ守テ

得タルノ幸福ト云ハサルヲ得ス然リ而シテ今
日其許所而地ノ少ク作事及タルモノヲ見ルニ殆
ニト救るノ術無ク存存ニ救救スルカ如ク往
々擧ナ眼ヲ怒ラシテテ磨ニ隅ニ播り及露
セントスルノ勢アリ容易ニ到致スヘキモノニ非ラ
物ニ趣益テ此等ノ毒カニニ害重スル所アリ頑
ノ政有、然レ清ニね南ノ後進方法ヲ設テ
以テ苦情ヲ解消致シ度々毒苗モ其力
法ヲ設ルル以テ往々苦情ノ有無ヲ問ハス一般
之ヲ施ルセサル可ラス特ニ現今窮蹙土地ノ

後任ノ作ノモノ、三ニアラス、曾テ出得、裁判
ヲ執リ、也所、ヲ引揚ケ入得、一ノ元、作人
ト雖、氏、其、情、状、一、ヨリ、テ、ハ、恩、給、ニ、係、ラ、ル、ヲ、得
ス、其、外、ハ、金、枚、窮、民、曾、テ、出、得、ニ、立、入、ラ、ス、情
良、勤、忠、ノ、モ、ハ、無、偏、權、テ、依、倉、收、ノ、モ
ノ、其、迄、モ、公、平、均、一、ノ、所、過、ニ、ア、ラ、サ、レ、ハ、情、産、ハ
早、竟、強、強、者、為、メ、ニ、没、ル、モ、ト、ナ、リ、恩
旨、ヲ、濫、ニ、テ、更、ニ、苦、情、ノ、辭、ト、ナ、ル、モ、免、カ、レ
ス、故、ニ、一、夕、七、之、ヲ、着、手、ス、レ、ハ、金、依、倉、而、收
開、墾、地、十二、村、後、任、氏、及、四、村、ノ、入、作、氏

ヲ、通、計、シ、之、凡、三、千、余、戸、ノ、支、給、ス、ル、古、費、高、ハ
莫、大、ニ、ニ、テ、容、易、ニ、辨、ス、ル、所、ニ、ア、ラ、ス、而、テ、其、由、テ
然、ル、所、以、ヲ、反、顧、ス、レ、ハ、美、ニ、三、井、家、ノ、係、リ、出
得、ヲ、起、ス、ノ、苦、情、連、及、ニ、テ、今、日、ノ、形、勢、ニ、立
寄、リ、為、メ、政、者、及、知、縣、ノ、處、分、ヲ、煩、ス、モ、一、ニ、テ
是、ニ、ス、終、ニ、今、日、國、費、多、端、ノ、時、ニ、於、テ、數、百、兩
金、ノ、経、費、ヲ、要、求、ス、ル、ハ、拙、者、ノ、能、テ、最、モ、何
お、世、臨、ノ、至、ニ、自、求、ス、ル、方、法、ヲ、設、
ケ、使、氏、等、立、リ、方、石、子、ノ、江、邊、及、ニ、整、風
一、番、セ、ム、ル、ノ、実、効、無、ク、テ、ハ、一、切、無、効、ナ、リ、

東原集一
之何處何分苦情、測救たれ元所
地豊四季十余二西お、家民一見込、力
法施たる南り強ト或る町歩、其地子
豆ニテ更ニ購求スハキ、賣地ナリ為ニ
テ諸希クモアレハ見込、代價ニ倍テ後致
述ニ計り存立タス前述、如ク之ヲ一役
施スルハ官ト已ナキ業理、然リ善及
スルモノニテ切角若情ヲ解消スルノ目的
タル豊四季十余二西村、及ホサ、レハ金ク
知後法タリ此形場アリニテ之ヲ云ハ巨万、

官至ヲ費ニ許多ノ官負ヲ流遣ニ以テ保
護、術ヲ尽スモノハ何人、為メト思量反首
セサル可カラス其元ニ於テ更ニ了安セラ、ルニ
付先般既ニ多子多力用ヲ以テ助力致ニ及
与る同者あり、其三井家ノ治具産ヲシテ今
日上下ノ對ミルノ情限ニ於テハ恐クハ未タ
責ヲ懐ヒ難ニ依テ能ク之海路ニ著ス處ヲ
申シ白及以テ決多業大富院上先一件、
宜老后出張先ニ於テ洗論錦極ノ長況言
詳以申お業リ、多クハ豊四季十余二西村

ノ穴新及系後任及ハ作後入作民之偏
接産ノ善ハ其元一年ニ引受ラレ度抑
多民救助モ施スヘキノ理由ナケレハ施ス
カラス後セ之ヲ施スモ高裁會ヲ内サレハ
惠ヲ空ク費スルヲ取リ或ハ強訴ニ屈テ
救助ヲナスノ疑壇アルヲ免レズ然レニ存ヤ十
分ノ伸運ヲ爲テ新及身ヲ容ルル地ノキ
極度ニ隔リタレハ有カ者モ有リ病婦ヲ令
コト由延テ顧ミテ之ニ安テ度量ヲ示シ
欲手仰天ノ憂分ヲナシ以テ一報也若何

ノ巢窟ヲ覆テ亦遠福利ヲ収ルルノ報恩
也タラシムル也三百圓ノ振金ヲ於テ昔々
資産ノ取リテハ善報多クニアラサルモ其
身ノ關係スルノ若何ヲ解クカ有メテ其
有他ニ責任シテ作子外ノ事南ヲ引受
ケ其地開墾他ノ役ノ人民ノ善及スルノ後
産方法ノ如キハ之ヲ官費ニ讓ルモ其
情實ニ於テ可然トシテ有カ者ト熟
考ト上及後隊名所ノ外心弱及ノ困難ヲ
解キ恒産ノ就中ニ其方法等臨機示

